【福島県天栄村】
校務ＤＸ計画

本村では、国のＧＩＧＡスクール構想に基づき、令和２年度から村内全ての小中学校で１人１台端末を導入し、校内通信ネットワーク環境の整備や校務支援システム等のクラウドサービスの積極的な活用を推進してきた。

今後についても、文部科学省「ＧＩＧＡスクール構想の下での校務の情報化の在り方に関する専門家会議」の提言や「ＧＩＧＡスクール構想の下で校務ＤＸ化チェックリスト」に示されている、教育委員会及び学校が教育ＤＸを推進する際に取り組むことが望ましい項目を実現するため、以下の取り組みや検討を行い、校務ＤＸを推進する。

１　ＦＡＸ・押印 の見直し

災害時や教育系ネットワークの不具合等など、ＦＡＸの方が効率的となる場合を除き、ＦＡＸの原則廃止に向けた業務見直しや関係機関へ働きかけを行う。

押印の見直しに向けては、教育委員会内で押印を求めている業務や書類の有無と見直しの可否、見直しができない場合の理由についての現状把握を行い、機微な情報を取り扱う場合を除き、公印省略で取り扱うなど押印ルールの見直しを図っていく。

２　校務系及び学習系ネットワークの統合および統合型校務支援システムの導入検討

現在、本村における教育系ネットワークは、児童生徒の個人情報等を取り扱う「校務系」と、児童生徒が学習活動で利用する「学習系」の２つに分離しており、相互にアクセス等ができない構成としている。今後はゼロトラストセキュリティの考え方を踏まえたセキュリティ対策を十分に講じた上で、教職員の働きやすさの向上と教育活動の高度化を目指し、先進自治体を参考にしながら、校務系・学習系ネットワーク統合と統合型校務支援システム導入について検討する。

３　ペーパーレス化の推進

現在、当村では県が提供するＦＣＳや、統合ファイルサーバーにより、教育委員会と学校、学校間のやり取りにおいては、個人情報を含む機微な情報も含めて安全にデータのやり取りができる環境を整備している。それらのツールを活用した校内での資料データの共有も進んでいるが、校内での決裁や保護者への通知、外部機関とのやり取りにおいてペーパーレス化が進んでいない現状を踏まえ、学校への聞き取りや周知によりペーパーレス化を進めていく。